

# 議会だより とくのしま



第170号

平成25年2月1日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203  
TEL 0997 (82) 11111 FAX 0997 (82) 1101



明けましておめでとうございます。本年も「町民のための議会」を目指し、積極的に議会活動を行ってまいります。  
(議会議員一同)

## 第4回定例会

12月11日～12月13日

- |                 |      |
|-----------------|------|
| ☆ 審議された案件と議決結果  | P 10 |
| ☆ 一般質問 (9氏登壇)   | P 11 |
| ☆ 市町村研修会レポート    | P 18 |
| ☆ 議会の動き         | P 18 |
| ☆ 徳之島地区介護保険組合議会 | P 19 |

12 月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・ 専決処分（平成 24 年度一般会計補正予算第 8 号）	承 認
・ 定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の制定	原 案 可 決
・ 税条例の一部改正	原 案 可 決
・ し尿処理場の設置及び管理条例の一部改正	原 案 可 決
・ ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正	原 案 可 決
・ 鹿児島県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び同組合規約の変更	可 決
・ 徳之島地区介護保険組合の共同処理する事務の変更及び同組合規約の変更	可 決
・ 工事請負変更契約（小郷団地 5 号棟新築工事 1 工区 淵上組）	可 決
・ 工事請負変更契約（小郷団地 5 号棟新築工事 2 工区 榑清和工業）	可 決
・ 工事請負変更契約（小郷団地 5 号棟新築工事 3 工区 佐田建設）	可 決
・ 工事請負変更契約（小郷団地 5 号棟新築工事 4 工区 有太利建設）	可 決
・ 損害賠償の額の決定	可 決
・ 平成 24 年度一般会計補正予算（第 9 号）	原案可決（賛成多数）
・ 平成 24 年度簡易水道事業特別会計補正予算（第 5 号）	原 案 可 決
・ 平成 24 年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決
・ 平成 24 年度介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決
・ 平成 24 年度公共下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	原 案 可 決
・ 平成 24 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	原 案 可 決
・ 平成 24 年度水道事業会計補正予算（第 4 号）	原 案 可 決
(報告)	
・ 公営住宅未払い賃料請求に関する訴訟の提起及び調停の申立て	
(陳情)	
・ 商工会に対する平成 25 年度補助金等に関する要望	
1 平成 25 年度補助金の増額	採 択
2 商工会に対する助成の制度化	不 採 択
(発議)	
・ 議会委員会条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・ 議会会議規則の一部を改正する規則	原 案 可 決

10 月臨時会（第 4 回）で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・ 平成 24 年度一般会計補正予算（第 7 号）	原 案 可 決
・ 平成 24 年度簡易水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	原 案 可 決
・ 平成 24 年度公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決
・ 平成 24 年度水道事業会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決

# いっばん質問

12月定例会には、9人の議員が登壇し、教育問題、防災・減災対策、保健福祉、さらにごみ問題、農業振興など町政全般にわたり執行部の考えをたじました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

## 業者増は失策だ



広田 勉 議員

係なく車を走らせる。経費は業者の数にかかわらず変わらないが、20年近く据え置かれていた単価を見直しのため増額になった。

## 集落法人化等の対策を

問

各集落の土地が、集落登記になっていて困っている。隣の知名町では集落法人化を進めている。現況を知っておられる方が存命の今、集落か徳之島町に登記を移すか、検討を急ぐべきではないか。

## 今後各集落と協議

答

米原総務課長  
各集落の公民館等の土地は、町の名義が10箇所、それ以外は個人名義または、個人の共同名義になっている。  
今後、集落の法人化を含めて各集落と協議していく。

## 町営住宅の分散化を

問

シルバーハウスを南区の土地に12棟も計画しているが、なぜか。亀徳で建設中の住宅に、

答

麓建設課長  
町営住宅の整備は、建て替え事業を主に進めている。小郷団地は、シルバーハウジング事業計画を策定していないため、一般公営での整備となった。現在、同計画を策定中なので各地区に分散化する方向で検討する。

その他の質問事項  
○奄振事業策定について  
○教育環境について  
○亀津中央線道路について  
○オラレの白紙について

一層の分別徹底で経費節減へ



## ごみの量に 関係ない

答

高岡町長  
ごみの減量化は、当然推進していく。一方、収集の仕事は、ごみの量に関

## 高齢化社会に備えた福祉住宅の整備

答

古賀副町長  
高齢化が進行しており、高齢者や障がい者に配

# 防災対策は生かされたか



徳田 進 議員

漏れがない  
か再調査を

徳田住民生活課長

**答**

各集落の災害調査に職員が配置されており、区長とともに被災した家屋等の調査を行っている。半壊家屋19軒の交付決定を受け、漏れがないか各区長に再調査を依頼した。

**問**

東日本大震災後、国内においても防災に敏感になっている。相次ぐ台風災害を受け、本町の防災対策はどうだったか。また、被災した家屋などの調査、見舞金や助成は十分だったか。

早めの情報提供

**答**

米原総務課長  
住民の生命と財産を守るため住民と協力し、町防災計画のもとに、消防団はじめ関係機関等連携を図る。早い段階で台風情報や備えを住民に周知し、防災の徹底を図っていく。

学校の  
再編計画は

**問**

過疎地域では、活性化のためにも学校は必要不可欠と考える。具体的に学校の再編計画はどこまで進んでいるのか。

委員会  
で検討中

**答**

秋武教育長  
再編計画委員会の3



学校再編と老朽化で新築が待たれる東天城中学校

回の会合で小・中学校の実態、今後の児童・生徒数の動向、学校規模による長所・短所、再編に関するアンケート結果等について共通理解した。今後、再編の可否について協議をしていく予定である。

# 幼・小・中校再編計画は



町 田喜男 議員

今後の校舎建設は  
学校再編と関連

**答**

秋武教育長  
東天城中の校舎建設を学校再編と関連づけ、再編計画委員会に諮問している。

**問**

山小学校の校舎は、老朽化が著しく危険だが、実情をどのように把握しているか。また、学校再編は、地域性を踏まえ、既存の施設を生かしていくのか、新たに小・中一貫校として新設を考えていくのか。

老朽校舎策について

**答**

武田学校教育課長  
山小には老朽校舎があり、非常に危険な状態であり、非常に危険な状態であり、非常に危険な状態であり、非常に危険な状態である。

この校舎には、地区の貴重な民具等が保管されている。この民具等の整理が先決で、その後撤去等の



昭和4年に建設された山小校舎(上)と

内部に保管されている民具



中一貫教育はこの後の再編で取り組んでいきたい。

# へりポ。ートは高台へ

幸 千恵子 議員



**問** へりポートの当初計画を縮小したのはなぜか。

奄美のへりポートより事業費が割高であり、場所が海岸端であるのは納得できない。無償提供の申し出のある高台の土地に変更し、事業費はもっと下げべきだ。

## 変更はしない

**答** 高岡町長

へりポート問題は、以前から議会に説明し、何度も答弁しているが、高台は霧が発生しやすく現在地に決定したもので、変更はしない。

## 建設を進める

**答** 米原総務課長

縮小については、予定土地に名義変更の進まない土地があり、面積を縮小した。

事業費については、照明を潮風に強い機材を使用、また土地の整備が必要であるため割高になった。今後県の補助金を受けて建設を進めていく。

## 一方通行で通学の安全確保を

**問**

亀津小・中学校周辺大瀬川沿い道路の改善計画はあるか。

通学路の安全確保のために、大瀬川沿い道路の小学校側を山手方向に、中学校側を海方向に、それぞれ



危険な通学路

## 27年度からの整備

を検討

**答** 麓建設課長

中学校側の道路整備計画は、懸案だった池田線延伸について、区画整理事業の網掛けがはずれたので、平成27年度からの整備を検討している。

## 地区住民の

同意が必要

**答**

武田学校教育課長  
亀津小・中学校の通学路の安全確保のために調査した結果、一方通行には地区住民の同意が最優先ということだった。今後、関係機関と連携して調査研究し、子どもたちの通学路の安全を守る方策を講じていきたい。

## 土地はソフィアが購入すべき

**問** 白寿苑の地代9万円の算出基準は何か。

白寿苑に貸している土地4筆6133平方メートルは、7236万9400円で町が町税で購入した。「島から一円も持ち出さない」という徳田理事長の言葉が本当なら、ソフィアがその価格で購入すべきだ。

## 町が誘致

**答** 高岡町長

白寿苑は、町が地域密着型施設として許可した。初期投資にお金をかけ過ぎると、サービスに影響が出るため、誘致した。医療と福祉については、自治体と民間との連携を強化すべきと考える。

その他の質問事項  
○行政執行について  
○防災・減災対策について

### 11月臨時会（第5回）で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案) ・イノシシ用侵入防止柵購入契約	可 決

# 適正な人員配置を



**問** 民生委員の業務内容、地域における人数と、適正な人員配置になっているか。

## 定数増を要望中

**答** 住田保健福祉課長  
民生委員は住民からの相談に応じたり、住民の実態や福祉需要を把握し、必要なサービスが得られるよう支援する役割を持っていて、24地区に合計33人配置されているが、国の1人当たり担当世帯数基準を超過している地区もあるのので、県へ定数増を要望している。

是枝 孝太郎 議員

## 住宅政策の充実を

**問** 住環境を充実させるために地域への住宅



小郷団地 5 号棟の建設現場

## 分散型の住宅整備

**答** 麓建設課長

平成 22 年度策定の公営住宅等長寿命化計画の中で、全住宅について建て替え・個別改善・維持管理・用途廃止の団地計画を整備方針として定めている。今

政策は、今後どのような計画で行われていくのか。

## 復旧・復興を

急げ

**問** 台風災害でのサトウキビ・畜産・園芸の被害状況と、復旧・復興をどの様に行っていくのか。

## 生産回復に 取り組む

**答** 岡元農林水産課長

被害額は、牛舎・倉庫・ハウス等 98 件、約 3 150 万円、サトウキビ・園芸果樹・家畜等約 4 億円である。農業経営の再建策として、1・7%の資金利子補給を行う。キビの生産回復対策には、資材費助成と国の事業を活用する。次期奄振へは、予算枠の拡大・補助率の引き上げ・輸送費の助成を要望する。

後は、分散型の住宅建設を整備していく予定だ。

# 災害時のがれき受け入れ



**問** 台風災害で発生したのがれき受け入れで、島民のごみ分別意識の低下が、改めて指摘されている。今後の対応について伺う。

## 処分が多額の 費用

**答** 徳田住民生活課長

今回の台風によるがれきを、尾母の旧焼却場に一時受け入れをしたが、ごみの適正な分別がされていなかった。持ち込まれたごみがかなりの量であり、処分に多額の費用が必要。予算の検討をしながら産廃処理施設への搬出を検討したい。

行沢 弘栄 議員



台風後のがれき(尾母の旧焼却場)

**問** 高齢化や過疎化に伴い、空き家や廃屋が増え、防災上の観点から改めて問題が浮き彫りになったが、空き家の適正管理に向けた対応について伺う。

### 空き家対策を



分別がされていない台風のがれき（尾母の旧焼却場）

### 実態調査を実施

**答** 米原総務課長 遠隔地への居住や経済的事情による空き家が目立つようになってきている。

今後その実態調査を実施して対策を検討したい。

## 裁判の経過と結果



### 内 重男 議員

秘密を漏らしてはならない」となっている。職員の内閣の強弱にもよるが、町民から守秘義務への不満の声がある。指導の徹底と違反者には罰則を科すべきではないか。

**問** 医療施設用地として購入した問題で、鹿児島地裁に提訴されている「土地取得差し止め」1億5千万円を弁済。2件の裁判の経過と結果は、

### 結果は未定

**答** 米原総務課長

平成23年9月に第1回の口頭弁論が始まり、平成25年2月に12回目が予定されている。結審については未定の状況だ。

### 守秘義務の徹底を

**問** 地方公務員法では「職員は職務上知り得た

### 違反には 厳格な処罰

**答** 米原総務課長

職員の倫理観欠如と思われる事例が発生し、守秘義務を徹底するよう注意喚起している。職員の重過失によるもの、積極的な違反に対しては厳格な処罰をしていきたい。

### 食肉センターの今後

**問** 徳之島食肉センターの試験稼働が7カ月

も遅れた理由は何か。試験稼働の結果と今後の予定は。

### 本格稼働に向け準備中

**答** 高岡町長

食肉センターは、殺菌消毒設備等に不足が生じ、設置許可が遅れた。現在は、設置許可も下り試験

運転をし、本格稼働に向け準備を進めている。

- 徳之島市場・アンテナショップ旬華について
- TMRセンターについて
- 25年度の職員採用について



本格稼働が待たれる食肉センター

# 特殊病害虫防除急げ

福岡 兵八郎 議員



## 防除より現実的な方向で

**答** 岡元農林水産課長  
喜界島では、平成 6

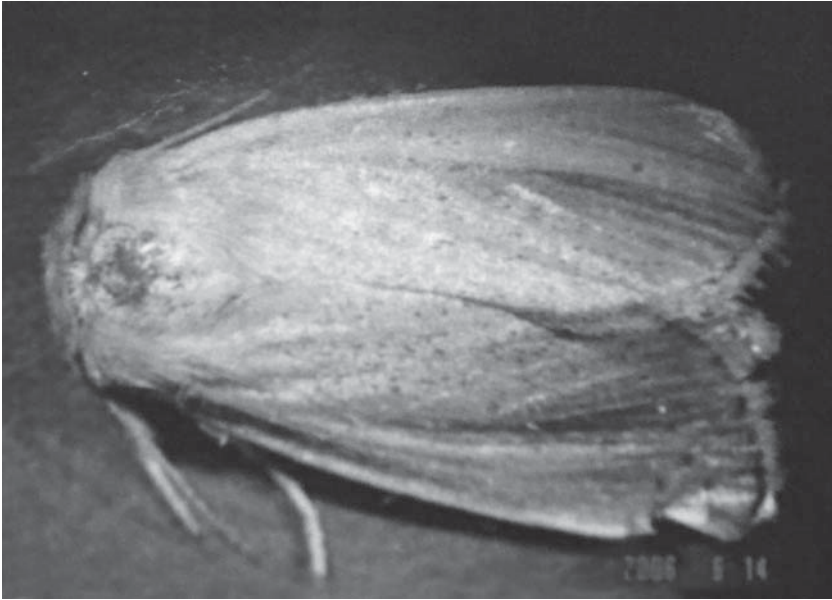
年からアリモドキの根絶防除事業が、毎年 2 億円前後の予算投入で、毎週 350 万頭の不妊虫放飼を行っているが、根絶の見通しが全くない。山深い徳之島では何十年何百年かかる。広域連合等で、処理量日量 5 ト程度の蒸熱処理施設を建設して、生イモで出荷することが、より現実的と考える。

**問** 北緯 30 度線を境にトカラ列島、奄美諸島の特殊病害虫（アリモドキ、イモゾウムシ）防除は、遅々として進まない。時間と費用がかかるため、国策として対策を求め、もっと積極的に行動すべきではないか。

## 国・県へ要望

**答** 高岡町長

特殊病害虫については、国・県に対して以前から要望している。サツマイモについては、島外出荷が可能になるための政策にも、取り組んでいる。



特別病害虫 イネヨトウ成虫（メイチュウ）

## 特色ある

### 教育は

**問** 教育環境（学力向上、地域との連携、郷土

学習、環境整備、教育相談、教職員研修制度等々）は、徳之島町総合計画（平成 24 年～33 年）に記されているが、各小・中学校特色ある教育はされているのか。

## 独自の教育を

### 実践

**答** 秋武教育長

各学校では、学力向上、地域との連携、郷土学習の導入、教育環境の整備、多様な教育相談の実施、教職員の学校内外での研修等、それぞれの学校の実態や教育計画に応じてその学校ならではの教育を実践している。

## 農地代利息

### の負担は

**問**

平成 21 年度一般会計補正予算書（第 4 号）

医療施設整備事業債務負担行為の 2 億 5 千万円で始まった土地購入問題は、最初から矛盾が多い。農地 4 筆は、元地主に登記が戻されて、11 月 30 日で 221 日になる。利息はいくらか。誰が負担するのか。

## 一般会計で

### 購入予定

**答** 米原総務課長

11 月 30 日までの借入利息は 62 万 1 893 円となっている。町が土地代金に利息を含めた金額で購入する予定だ。

## 利息の原資は 賃貸収入から

**答** 高岡町長

手続きの遅滞によっての利息については、現在、町と土地開発公社で賃貸収入があり、どちらかの収入から捻出することになる。

## 12 月臨時会（第 6 回）で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・土地売買契約（亀津字白久 5308 番 3,755 m <sup>2</sup> ）	可決（賛成多数）
・土地売買契約（亀津字白久 5342 番 1,075 m <sup>2</sup> ）	可決（賛成多数）
・土地売買契約（亀津字白久 5344 番 912 m <sup>2</sup> ）	可決（賛成多数）
・平成 24 年度一般会計補正予算（第 10 号）	原案可決（賛成多数）



# いじめ防止条例制定を



芝田 竜星 議員

れている。

条例ではなく、教育の充実によりいじめの防止・解決にあたっていきたい。

## 問

本町での子どものいじめの状況、防止対策はどうなっているか。子どもたちによるいじめ防止活動の取り組みも必要ではないか。また、行政と町民が一体となり、社会全体で取り組むべき重要課題であるため、いじめ防止条例制定はできないか。

いじめの防止・  
解決は教育で

## 答

秋武教育長  
本町でもいじめはあるが、各学校で人権教育や道徳教育、いじめ防止週間、児童会・生徒会活動で取り組み、その都度解決さ

## 室内スポーツ 施設整備を

## 問

スポーツ団体誘致や子どもたちのスポーツ交流など、地域活性化につながる室内スポーツ施設はできないか。

子どもたちの運動、町民の健康増進、利用向上のため、徳和瀬の町運動公園への総合バスの經由運行はできないか。

## 補助事業を模索

## 答

琉社会教育課長  
屋内運動施設整備の必要性については、多くの町民からの要望があるこ

とも十分認識しておりま  
す。  
プロや大学の合宿誘致  
を進める観点からも、少  
しでも率の高い補助事業  
を模索して、計画を進めた  
い。

## 要望があれば 検討

長川企画課長

亀津市街地から夏休  
み限定で過去にバス運行



室内スポーツ施設の整備が望まれる運動公園

## 青年団活動に 支援を

## 問

徳之島町連合青年団  
が、平成23年6月に  
新たに組織された。行政と  
しての今後の支援や活動  
の方向性について伺う。

## 活動計画に 沿った支援

## 答

琉社会教育課長  
本町の連合青年団活  
動は、平成16年度から休止  
状態にあったが、再活動を  
望む有志や数名の若者が  
平成23年6月に話し合い  
を持ち、組織化することが  
できた。

今後は、情報の共有や  
事務的支援に加え、活動の  
幅が広がるような計画内  
容に沿った支援をする。

した経緯があるが、乗客数  
がほとんどいかなかったの  
で廃止した。今後より多く  
の要望があれば検討する。

## 次回の定例会は3月上旬頃の予定です。

みんなで議事を傍聴してみませんか。手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎ 82-1111 (内線 331 番)



12月議会を傍聴する樟南第二高等学校の生徒ら

# 市町村政研修会レポート

昨年の10月15日鹿児島市で開催された市町村政研修会（県町村議会議長会ほか市町村四団体及び市町村振興協会主催）に議員11人が参加しました。

研修会では、東京大学名誉教授の月尾嘉男氏が「ガラパゴス日本からの脱却」また、地方自治総合研究所所長の辻山幸宣氏が「これからの地域主権改革を考える」と題して講演がありました。総務文教厚生常任委員長が講演の内容をレポートします。

## 「ガラパゴス日本からの脱却」

### 日本の現状

#### 1 沈没する日本

日本は15歳以下の若年人口比率が世界主要55カ国で最下位であり65歳以上の老年人口比率は最高位に位置している。国・地方の長期債務残高は1000兆円に達し経済成長率も低迷している。国際競争力は低下しGDP（国内総生産）は中国に抜かれ世界第三位となった。

#### 2 劣化する日本

合計特殊出生率の低下により人口は減少に転じた。国内においては国民所得格差が拡大し生活保護世帯は150万世帯にも達している。

#### 3 破綻する財政

国の信用度を示す国債格付けはAAA+↓A+へと日本の国債格付けは3段階も下げてしまった。このままだと財政破綻し経済危機を招いたギリシャの二の舞になりかねない。

#### 4 他国攻撃無視

他国からの攻撃に対し

てそれを無視した政策判断

錯誤の結果、1951年チベットは中国領土の一部に編入された。かつて世界は軍事力、経済力を持つ国に侵略された時代があった。現代においてなお、軍事力、経済力の力で「他国の領土・領海」に侵入し「自国の領土・領海」と主張する国が存在する。

#### 5 国家消滅は幻想ではない

歴史を振り返れば中世ヨーロッパにおいて経済至上主義を通し、その後滅亡した国家カルタゴや政策判断錯誤によって消滅したベネチアは、今日の日本と酷似している。

#### 6 目標の転換

アメリカが示した文化国家世界の国力の変遷は軍事力+経済力+技術力+文化力の総合力へと変遷している。アメリカは、世界のトップリーダーとして世界をけん引している。これからの日本は、軍事力↓経済力↓文化力へと国力の目標

を転換すべき時である。

#### 7 日本が見直すべき精神文化

「ラストサムライ」が称賛した精神。日本人は、誇りと名誉を重んじる国民である。新渡戸稲造著「武士道」には誇りと名誉を重んじる「武士」の生き方があり、映画「ラストサムライ」は日本人の精神文化の高さを称賛している。

#### 8 愛国精神の涵養

国家を形成するのは国民一人であり、国家は国民一人一人の心のよりどころでもある。今、日本はさまざまなか問題を抱えて、「国難」の時と言われている。この「国難」をどう乗り越えるのか。国民に課せられた課題でもある。

#### 9 進化する日本へ

日本は今、「国家を失った民族の悲惨さ」を考える時でもある。日本人としての誇りと名誉のために、もう一度日本人の精神文化を進化させて、再び世界のトップリーダーとしての国家へとその地位を高める時でもある。

木原良治

## 議会の動き

10月	1日	平成24年度徳之島空港利用促進協議会総会（天城町）	9日	芸能大会
	6日	秋の全国地域安全運動出発式（伊仙町）	13日	徳之島町シルバー人材センター設立20周年記念式典
	10日	議会広報研修会（鹿児島市）	13日～14日	広島県議視察
	15日	市町村政研修会（鹿児島市）	16日	第31回離島振興市町村議会議長全国大会及び町村議会議長全国大会、議長研修会（東京都）
	18日	議会だより編集委員会	16日	第5回臨時会
	22日	第4回臨時会	16日	高齢者芸能大会
	24日	常任委員長研修会（霧島市）	19日	平成24年度慰霊祭
	27日	伊仙町町制50周年記念式典及び祝賀会（伊仙町）	22日	第29回徳之島町福祉スポーツ大会
	28日	徳之島地域文化情報発信施設こけら落とし式典（伊仙町）	26日	各種協議会（奄美市）
	29日	「花と結のシンポジウム」（伊仙町）	27日	正副議長会（奄美市）
11月	1日	木材需要拡大に関する要望活動	28日	新元議員研修会（奄美市）
	4日	母間小学校110周年式典	30日	東天城地区戦没者合同慰霊祭（前川生活館）
	5日	離島議長行政調査（宮古島市）	3日	事務局長及び職員研修会（奄美市）
	6日	徳之島町名譽町民故保直次氏のお別れ会（鹿児島市）	5日	奄美地域（徳之島）の国立公園指定に係る説明会
	7日	第22回大島地区身体障害者	6日	平成24年度行政との懇談会
	7日	第22回大島地区身体障害者	7日	議会運営委員会
	11日	徳之島町名譽町民故保直次氏のお別れ会（鹿児島市）	9日	年末年始全国地域安全・交通安全事故防止運動出発式
	13日	第4回定例会閉会	11日	第4回定例会開会
	25日	第6回臨時会	13日	第4回定例会閉会

# 徳之島地区介護保険組合議会

平成 24 年 10 月 5 日に行われた介護保険組合議会では行政報告や平成 23 年度の決算、平成 24 年度の補正予算などの審議が行われ、認定・可決されました。

幸千恵子議員が法改正後の状況や情報、認定業務上の問題点・課題点について質問して執行部をただしました。

## ◎第 1 号議案 平成 23 年度徳之島地区介護保険組合会計歳入歳出決算について

平成 23 年度徳之島地区介護保険組合予算現額 3186 万 1000 円に対し、収入済額 3198 万 5835 円、支出済額 3026 万 3383 円、差し引き残高 172 万 2452 円。

収入内訳は、分担金及び負担金が徳之島町 1198 万 6680 円、天城町 882 万 3000 円、伊仙町 1001 万 2508 円、合計 3082 万 2188 円。

諸収入、受託事業収入 14 万 8523 円、繰越金 91 万 4124 円、国庫支出金 10 万 1000 円、収入合計 3198 万 5835 円。支出、議会費 8 万 6147 円、総務費 517 万 1916 円、民生費 2599 万 5320 円、支出合計 3026 万 3383 円。

## ◎一般質問

介護保険制度では調査員や審査会委員、医師の確保などに苦勞しているが、医師の過重労働など認定業務にお金をかけるのではなく、認定作業は現場に任せて、お金は事業

所の介護労働者に賃金として回るようにしたほうがいいのではないか。

管理者 高岡徳之島町長

より多くの現場サイドの意見を聞き要望するところは要望していきたいと考える。現場の状況を把握して国や県に訴えるべきは訴えていく。

副管理者 大久保伊仙町長

よりよい介護保険制度について介護保険合議体で議論し、良い政策を我々が築き上げて国・県に対し「むしろこういうやり方が良いのではないか」と働きかけていことは可能であると思う。さらに議論を深めていこう。

副管理者 大久天城町長

国のほうでも大変複雑で苦勞しているために改正が行われていると思う。天城町は以前あった問題も今はない。しかし今後も問題は出てくるようであれば、我々も国・県へ要望を挙げていくことが必要と思う。

## 後編 編集

昨年 11 月に、「議会の使命と議員の職責」と

題した新元議員研修会があり、徳之島町の新人議員 4 人も参加させていただいた。

地方自治制度は、日本国憲法に明記されており、議会の使命と議員の職責は、憲法と地方自治法で定められている。「議会と執行機関（長）は車の両輪、一歩離れよ二歩離れるな」と、適度の距離が必要であり馴



編集委員のみなさん

ボードに、「議員」と書き、議論をすべきしなくならぬ。議会が議論をたらしめるか、と「議」の字を消して、「員」を残し、「鹿兒島では犬のことをインと呼ぶが、議論がなければイン（犬）になってしま

れ合っつてはいけなないと戒められた。さらに、「議員は全体の代表であり奉仕者である。これが議員の本質だ」としごくごもつともな話も改めて確認した。また、議員が行う質問は、住民に代わって行財政の運営を監視する権限を有する議会の構成員である議員に与えられている固有の権能であり、「勇気」と「奮起」をもって、新議員として議会に新風を吹き込み、刺激を与えることを期待された。

最後に講師の方が強調したことがある。ホワイトボードに、「議員」と書き、議論をすべきしなくならぬ。議会が議論をたらしめるか、と「議」の字を消して、「員」を残し、「鹿兒島では犬のことをインと呼ぶが、議論がなければイン（犬）になってしま

- 文責 幸 千恵子
- このような貴重な時間を保障していただいたことにとっても感謝いたします。
- 研修内容を確認するために、日本国憲法の本を開いてみたら、確かに、地方自治制度や議会の使命等が明記されていた。ついでに全文を読んでみたが、基本的人権や思想や良心の自由をはじめ、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と生存権の保障が明記されている。改めて私たちの生活全般が、日本国憲法によって守られ、権力からも守られていることが確認できた。この日本国憲法に則って、議員としての職責を果たせるように頑張ろうと、気持ちを新たにしたい。
- 議会だより編集委員
- 委員長 広田 勉
- 委員長 徳田 進
- 副委員長 幸 千恵子
- 委員 行沢 弘栄
- 委員 芝田 竜星